

## 案件に関連する指摘・対応状況

### 問題解決済

国名：案件名
セネガル：緊急給水計画
(1) 問題・指摘の概要
調達された機材の大部分は現在でも有効活用されているものの、2011年12月から2016年3月までの間に、供与された機材の一部（クレーン付トラック3台、エアーコンプレッサー2台、移動式溶接機4台等）が故障するなどして使用されなくなっていた。また、実施機関から（協力準備調査の報告書において、供与後5年間提出することが合意されていた）使用状況報告書が提出されていなかった。
(2) 原因
協力準備調査の報告書において、使用状況報告書の年一度の提出が合意されていたものの、多岐にわたる機材が遠隔地に配備されたため、実施機関において各機材の状況の詳細把握が困難であった。
(3) これまでの対応及び現状等
2015年1月の調査において一部機材の不具合を確認し、その後、先方実施機関によって一部の機材は修理され再度活用されることとなった。また、使用状況報告書の提出はなされていなかったが、2016年にJICAが網羅的な調査を実施し、機材の維持管理状況の全容を把握するとともに、2019年11月に機材の使用状況をまとめたモニタリングシートが実施機関から提出された。 他方、事後評価において一部機材の故障が確認されたことから、先方実施機関との間で機材使用状況を定期的にモニタリング中。
(4) 今後の対応・教訓等
当初合意したJICAへの定期報告期間5年を了したことから、JICAによるモニタリングは終了する予定。 今後の案件形成に向けた教訓としては、調達機材が持続的に維持管理され有効活用されているように先方の実施体制の強化を支援することが挙げられる。